

2018年度 東京大学 前期 世界史

第1問 19世紀から20世紀における女性の活動

出題範囲	近代～現代の社会・政治史
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：40分　ふつう：50分　苦手：60分
傾向と対策	19世紀から20世紀の女性に関する問題。そもそも世界史における女性についての知識が少なく、600字を埋めきるのは難しいという受験生もいただろう。設問では地域が限定されていないため、西欧のみに注目するのではなく、アジアについても知識があれば書きたい。また、具体的に記述するよう指示が出ているため、抽象論に終始することは許されないが、具体例の羅列だけではいい点数を望めない。豊富な世界史の知識だけではなく、知識にもとづき問題文の要求に沿って解答をまとめ上げる力も試される難問である。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

東京大学二次試験地歴科目で用いられる30字詰め原稿用紙にもとづき、「1行=30字」と換算した

解答の冒頭にある設問番号も文字数に含んでいる

英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

合格答案

人権宣言で人間の平等が唱えられたが、女性は権利を保障される対象ではないと解釈され、産業革命後には工業化に伴って性別による分業が進み、ナポレオン法典の制定により男女の役割分担は法的に明文化された。このような社会状況の中でも、ラジウムを発見してノーベル賞を受賞したキュリーや、クリミア戦争で看護活動を行ったナイティンゲール、黒人奴隷解放に貢献したストウなど、社会での功績を認められる女性はいたが、依然として参政権はあたえられず女性は政治に参加できなかった。そのため、この状況に反発した女性は地位向上を目指して参政権獲得運動を展開した。そして、総力戦となった第一次世界大戦では男性が戦場に向かったため、軍需工場などに女性が動員され、銃後の活躍が認められたことで、イギリスでは第4次選挙法改正、アメリカでは連

邦憲法改正により女性が参政権を得た。その他にも、革命を経たドイツやロシア、第二次世界大戦後のフランスや日本で女性が参政権を獲得し、世界各地で政治的に男女平等が達成されたが、職業選択などにおいて慣習的差別が残った。これに対して差別を完全に撤廃しようというフェミニズム運動が盛んになり、国連で女性差別撤廃条約が締結され、日本では男女雇用機会均等法が制定された。また、イギリスで女性初の首相サッチャーが誕生するなど、女性の社会進出が進み女性差別は解消しつつあるが、現在でも性差による慣習的差別は残っている。(600字)

高得点答案

人権宣言における「市民」に女性は含まれないと解釈されたように、近代欧米では女性の権利が保障されず、産業革命での工業化に伴って性別による分業が進み、ナポレオン法典で家父長制が明文化された。このような社会状況でも、ラジウムを発見したキュリーや、近代的看護活動を創始したナイティンゲール、黒人奴隷解放に貢献したストウなど、その功績を認められる女性はいいたが、依然として女性に参政権はなかった。この状況に対し、女性は地位向上のために参政権獲得運動を展開し、また、日本の平塚らいてうの女性解放運動やインドネシアのカルティニの女子教育など、各地で女性のための運動が起きた。そして、総力戦となった第一次世界大戦での銃後の活躍が認められ、イギリスでは第4次選挙法改正、アメリカでは憲法改正で女性が参政権を獲得した。革命を経たドイツ、ロシアや第二次世界大戦後の日本、フランスでも女性参政権は認められ、世界各地で政治的に男女平等が達成されたが、職業選択などにおける性差など慣習的・社会的差別は残り、社会的な男女平等を求めフェミニズム運動が盛んになった。国連における女性差別撤廃条約の採択や、日本での男女雇用機会均等法の成立、イギリス初の女性首相サッチャーの誕生など、女性への差別の解消や女性の社会進出が進んだが、イスラーム教やヒन्दウー教といった伝統的宗教思想との対立など、女性に対する差別の問題は完全には解決していない。(600字)

設問の要求

字数 20行以内(600字以内)

主題 19～20世紀の女性の活動、女性参政権獲得の歩みや女性解放運動について具体的に記述する

条件 指定語句をすべて使用し、下線を引く

解説

(1)設問の読み取り

解答を作成するにあたり、まず問題で何について問われているかをチェックする。本問に限らず、例年東大の第1問は問題文が長く、そこに多くのヒントが隠されている。まずは問題文をじっくりと読んで、解答の方針を決めよう。

問題文から読み取れることの中で最も重要なのは、女性が置かれている状況や女性の運動がおもに3つの段階に分けられるということであろう。まずは「女性に権利があたえられなかった段階」、次に「女性が参政権を獲

得した段階」,そして「女性が社会的差別から解放されるべく運動している現在の段階」の3つである。この3つの段階を読み取ることができれば、解答の大枠はほとんどできあがったようなものである。実際に、高得点答案に書かれている内容のほとんどは問題文から読み取れることを具体化したものとなっており、問題文をしっかり読むだけで解答は書きやすくなる。

なお、設問で具体的に記述するように指示が出ているからといって、必要以上に具体的に書き過ぎないように注意しよう。例えばキュリーの事績がどのようなものであるかを詳しく説明する必要はないし、字数的にもそのような無駄なことを書く余裕はまったくない。無駄に詳しく記述すると、必要な内容が書けなくなり、さらには問題の趣旨から外れる危険性もあるため、高得点答案のように「ラジウムを発見した」程度にとどめるなど、簡潔に述べることを意識しよう。

(2)各段階に関する考察

問題文から3つの段階について読み取ることができたので、次は読み取った段階それぞれについて考えよう。

①女性に権利があたえられなかった段階

まず前提として19世紀以前の状況を考えるが、近代のヨーロッパにおける女性の扱いについて最もわかりやすい事例は、18世紀のフランスで制定された**人権宣言**である。人権宣言とは、フランス革命が始まってすぐに**国民議会**で制定された17条からなる宣言で、人間の自由・平等や、圧政に対する**抵抗権**、**国民主権**、**私有財産の不可侵**などを定めたものである。**アメリカ独立宣言**やルソーの啓蒙思想に大きな影響を受けており、非常に民主的な内容であると思えるが、**人権宣言に定められている内容の適用範囲は成人男性**（25歳以上で一定の租税要件をみたす男性）**のみ**と解釈され、**女性には権利があたえられていなかった**のである。また、女性が権利保障の対象から除外されたのは人権宣言だけではない。人権宣言に影響をあたえた**アメリカ独立宣言**でも同様であり、人間の自由・平等が唱えられてはいたが、そこに女性は含まれないと解釈された。本解答においては独立宣言にふれてはいるが、解答を書く際には人権宣言だけではなく独立宣言にふれてもよいだろう。さらに、18世紀のイギリスを皮切りに、欧米各地で**産業革命**が始まって工業化が進むと、性別による役割分担の考えが生まれ、女性は家事をして出産をし、男性に従属することが美德だとされた。そして、近代市民社会の原則を確立した**ナポレオン法典**により家父長制が明文化され、性別による役割分担が法的に固定化された。

しかし、問題文に「学問や芸術、社会活動など、女性が社会で活躍する事例も多かった」とあるように、このような社会状況の中でも活躍する女性はいた。指定語句でこれに該当するのは**キュリー**と**ナイティンゲール**であろう。キュリーは夫婦共同で放射性物質について研究し、19世紀末に**ラジウム**を発見したことでノーベル賞を獲得した。ナイティンゲールは19世紀にクリミア戦争に従軍して看護活動を行い、**近代看護婦制度を創始**した女性で、**国際赤十字社の設立に大きな影響**をあたえた。ただし、この2人で問題文にある学問、社会活動で活躍した女性については書けたが、芸術で活躍した人物は挙げられていない。指定語句をつなげる作文を書いているのではないのだから、やはり芸術分野で活躍した女性についても書きたいところである。解答では文学を広く芸

術の範囲と捉え、『アンクルトムの小屋』を発表して**黒人奴隷解放に貢献したストウ**を挙げた。

さて、このように社会で活躍する女性が現れる中でも女性に対する待遇は変わらず、この現状に不満をもった女性が社会進出を目指してさまざまな運動を始めた。欧米では女性が選挙権を獲得すべく参政権獲得運動を繰り広げた。アジアでの運動を考えると、日本では**平塚らいてう**が**女性解放運動を主導**し、インドネシアではヨーロッパ人の学校でオランダ語を学び社会生活の変革の必要性を自覚した**カルティニ**が**女子教育**を始めた。このように、ヨーロッパに限らず世界各地で女性のための運動が起こり始めたのである。ただし、平塚らいてうやカルティニは少々細かい知識であるので、これを書ける受験生は少なかったかもしれない。

②女性が参政権を獲得した段階

女性の参政権獲得運動は、第一次世界大戦によって大きな転機を迎えた。第一次世界大戦は、ヨーロッパだけでなく世界中が巻き込まれた戦争であり、各国が国力のすべてを使い戦う**総力戦**の様相を呈した。多くの男性は兵士として戦場に送られたため、国内の労働力は不足し、その結果**女性が軍需工場に動員され、国内の生産力を支えた**。そして、第一次世界大戦中から大戦後の世界において、**女性の戦後の活躍が社会的に認められ**、女性の社会進出や選挙権獲得運動を大きく後押しした。イギリスでは大戦中の**1918年**に、**ロイド＝ジョージ**挙国一致内閣により**第4次選挙法改正**が行われてついに女性参政権が認められた。そのほかに、アメリカでは1920年に**ウィルソン大統領**のもとで**憲法改正**が行われて女性参政権があたえられた。ドイツでは革命を経て1919年に制定された**ヴァイマル憲法**で、ロシアでも革命後の社会主義政権が1917年に女性の参政権を規定した。第二次世界大戦末期以降も日本やフランスで女性が参政権を獲得し、世界各地で法的な男女平等が実現したといえるだろう。

③女性が社会的差別から解放されるべく運動している現在の段階

世界各地で女性は参政権を得たものの、職業選択における性差など慣習的・社会的な差別は残ったままであり、依然として男女平等の社会は実現されなかった。そこで、今度は19世紀のフランスで生まれた**フェミニズム**の考えにもとづいた運動が盛んになっていった。1960年代にアメリカで始まり、世界中に広まった**ウーマン＝リブ運動**では男女の役割分担が批判され、女性の社会進出が声高に掲げられた。1979年には国連において、女性に対するあらゆる差別を禁止する**女性差別撤廃条約**が採択され、男女平等の社会の実現を大きく推進した。その他にも、日本では**男女雇用機会均等法**や**男女共同参画社会基本法**が制定され、男女平等の社会を建設しようという動きがみられている。また、イギリスで初の女性首相**サッチャー**が誕生し、問題で要求される時期から外れるがドイツでも女性初の首相**メルケル**が誕生するなど、近年では女性が国のトップとして活躍する例もみられ、女性の社会進出が果たされてきている。

しかし、**現在でも男女平等の社会が完全に実現したわけではない**。その代表的な例として、**イスラーム教**や**ヒンドゥー教**といった、宗教思想に関する問題が挙げられる。例えばヒンドゥー教においては、**サティ**という習慣がある。サティとは夫を失った寡婦が後を追って殉死することであり、殉死をしない寡婦にはさまざまな制約が

課された。20世紀初めには行われなくなり、現在ではサティを禁止する法令が制定されてはいるものの、まれに慣例として行われることがある。また、イスラーム教を国教とする国では、コーランをめぐるさまざまな解釈から、家父長的な制度や慣習が依然として強く残る国や、慣習や伝統により、名誉殺人や女性器切除、児童婚が行われ、女性の権利侵害として問題視されている地域も存在している。女性に対する差別をなくそうとする改革が行われてはいるものの、なかなか改革が進まない部分が多い。ただし、この宗教思想の問題はさまざまな側面をもつ問題であるため、単に女性差別の一言で片づけられるような問題ではない。

(3) 解答の草案

以上の①～③の内容を用いて、解答の大まかな流れを示す。字数に対して書くべき事柄が非常に多いので、書き方を工夫しなければ書きたい内容が書ききれなくなるだろう。

・ 19世紀以前～第一次世界大戦前後まで

女性に権利があたえられていない…人権宣言の解釈により女性は権利を保障されなかった

産業革命以降の男女の役割分担意識

ナポレオン法典の家父長制

ナイティンゲールやキュリー、ストウなど各分野で活躍する女性の登場

→参政権があたえられない現状に不満をもった女性がさまざまな運動を展開

例：欧米の女性参政権獲得運動

日本の平塚らいてうなどの女性解放運動

インドネシアのカルティニによる女子教育 など

・ 第一次世界大戦中～第二次世界大戦前後まで

総力戦となった第一次世界大戦での銃後の活躍が認められ、女性が参政権を獲得し始める

1917年…ソヴィエト社会主義政権

1918年…イギリス，第4次選挙法改正

1919年…ドイツ，革命後にヴァイマル憲法を制定

1920年…アメリカ，ウィルソン政権下で憲法改正

1945年…フランス，日本で女性参政権が認められる

その他にも多くの国々で女性参政権が認められており，多くの国で法的な男女平等達成

・ 第二次世界大戦以降

社会的・慣習的差別の撤廃を目指し，フェミニズム運動が盛んになる

例：国連での女性差別撤廃条約の制定

日本での男女雇用機会均等法，男女共同参画社会基本法の制定

イギリスで初の女性首相サッチャーが誕生 など

→女性の社会進出や差別の解消に進展，ただし完全に差別が解消したわけではない

例：イスラーム教やヒンドゥー教などの宗教思想との対立 など

(谷口昂輝, 重森理瑛, 井小路瑞木)

2018年度 東京大学 前期 世界史

第2問 宗教の生成・伝播・変容

出題範囲	古代～近代の政治・文化史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	得意：15分　ふつう：20分　苦手：25分
傾向と対策	<p>宗教の生成や伝播、変容についての問題。第2問の論述問題は、「特徴」を述べる論述（問(1)(a)、(c)、問(3)(a)）と、「経緯」を述べる論述（問(2)(b)、問(3)(b)）に分けられる。2問ある一問一答問題はやさしく、ともに確実に正解したい。問(1)(c)や問(3)(a)は典型的なトピックであるため、ここでの失点はなるべく少なくとどめておきたい。差がつくのは残りの問題となるだろう。問(3)(b)は「経緯」の記述が求められている部分は確実に点数を獲得したいが、要求されているもう1つの内容は難易度が高い。問(3)(a)は知識の有無で点数が明瞭にわかれる問題だろう。ある歴史的事項を世界史の流れの中で捉えることを学習の際に意識してほしい。</p>

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

東京大学二次試験地歴科目で用いられる30字詰め原稿用紙にもとづき、「1行=30字」と換算した

解答の冒頭にある設問番号も文字数に含んでいる

英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

問(1) (a) 苦しい現世からの解脱を目指した両教は、バラモンの祭式主義や特権およびヴェーダの権威、ヴァルナ制を否定して平等を説き、バラモンに反発するヴァイシャやクシャトリヤに支持された。(87字)

(b) ウパニシャッド哲学

(c) 出家僧侶が自己救済を目指す上座部仏教に対し、大乘仏教はサンスクリット語の経典をもち、他人の救済を自己より優先させる者を菩薩として信仰し、在家信者を含むすべての人間の救済を求めた。

(90字)

問(2) (a)平城, 雲崗石窟, B

(b)イエズス会は祖先祭祀や孔子崇拜の典礼を認めたが, 他派の反発をうけ教皇が典礼を禁止すると康熙帝はイエズス会以外の宣教師によるキリスト教の布教を禁止し, 雍正帝は布教を完全に禁止した。

(90字)

問(3) (a)労働を重視する従来の修道会に対し, 托鉢修道会は, 土地や富の蓄積を否定し, 都市で説教しながら信者からの喜捨で生活した。(59字)

(b)離婚問題で教皇と対立したヘンリ8世は首長法で国教会を成立させ, エドワード6世は一般祈禱書で教義と儀式を定め, エリザベス1世は統一法で国教会を確立させた。カルヴァン派は, カトリック的な教会組織や儀式が残っていると批判した。(111字)

問(1) 難易度: ★★★★★

(a)

解答例

(a)苦しい現世からの解脱を目指した両教は, バラモンの祭式主義や特権およびヴェーダの権威, ヴァルナ制を否定して平等を説き, バラモンに反発するヴァイシャやクシャトリヤに支持された。(87字)

設問の要求

字数 3行以内 (90字以内)

主題 仏教やジャイナ教に共通のいくつかの特徴

解説

仏教とジャイナ教の共通点は以下3つに分けられる。

(1)登場の経緯

仏教とジャイナ教が登場する以前は, B.C.10世紀頃に成立したバラモン教が普及していた。バラモン教は『ヴェーダ』を聖典とし, ヴァルナ制のもとでバラモンを最上位に位置させた。しかし, 都市の発達により商人階層が台頭し, 伝統に固執するバラモンに反発するようになった。仏教やジャイナ教はそのような動きの中で誕生した宗教である。仏教とジャイナ教は, バラモンの特権, ヴェーダの権威, ヴァルナ制などを否定し, 出生により差別されない平等を求めた。またバラモンの祭祀は非現実的にして複雑難解であるため, バラモンの特権を強化するものとして否定された。

(2)教義

仏教は, すべてのものが無常であり, 現世は苦しみに満ちているとした。そのうえで, 中道(執着を捨て, 正しい判断と行動をすること)をとりつつ, 道徳的生活(八正道)の実践による解脱を目標とした。ジャイナ教は生きものが生きものを苦しめる世界の現状を憂い, 厳しい戒律を守りつつ, 徹底した苦行を行うことで解脱が果たせると考えた。両教の共通点は, 現世が「苦」であると認識したうえで, 解決策および目標として解脱を掲げている点だ。苦行を強いることを是としているのはジャイナ教だけで, 「苦行」や「修行」は共通点には含まれ

ないため注意が必要である。

(3)支持者

(1)でも述べたように、特権的なバラモンに反発していたのは、**ヴァイシャ**や**クシャトリア**身分の人々で、おもにクシャトリアは仏教を、ヴァイシャはジャイナ教を支持した。

上記の3つを組み合わせたものが解答例になっている。この問題では仏教とジャイナ教の共通点が問われているが、暗にバラモン教と両教を対比させていることに気づきたい。仏教とジャイナ教の教義について細部まで覚えておく必要はないが、バラモン教との対比など、重要な部分については確認し、述べられるようにしておきたい。

(b)

解答

(b)ウパニシャッド哲学

解説

インドにおける従来の宗教（**バラモン教**）での改革の動きから出てきたのは、**ウパニシャッド哲学**である。バラモン教の内部革新としてB.C.6世紀頃に誕生したウパニシャッド哲学は、祭式至上主義を批判し、絶対的な真理とその把握を目指した。梵我一如・輪廻などの概念は、**仏教**や**ジャイナ教**などの思想に影響を及ぼしている。

(c)

解答例

(c)出家僧侶が自己救済を目指す上座部仏教に対し、大乘仏教はサンスクリット語の経典をもち、他人の救済を自己より優先させる者を菩薩として信仰し、在家信者を含むすべての人間の救済を求めた。(90字)

設問の要求

字数 3行以内 (90字以内)

主題 大乘仏教の特徴

解説

大乘仏教の特徴は、上座部仏教と比較して考えるとよい。

(1)救済されるためには

上座部仏教であれば**出家した僧侶のみ**が厳しい修行を行うことで救済を目指せるが、大乘仏教であれば**出家しているかいないか**（出家・在家）**にかかわらず**、菩薩信仰によって救済を目指す。

(2)救済される対象

上座部仏教であれば**出家した僧侶本人が救済される**が、大乘仏教であれば出家・在家にかかわらず**すべての人間が救済される**。このことから、大乘仏教は自己救済ではなく**他者の救済を目指す**ことができ、厳しい修行を行いつつ他者の救済を目指す者は**菩薩として信仰される**。

(3)経典の言語

経典の言語について、上座部仏教はパーリ語（上座部仏教聖典に用いられた古代インドの言語）だが、大乘仏

教は**サンスクリット語**である。

(3)は大乗仏教と上座部仏教を比較する際にあまり登場しない観点であるため、採点基準内に含まれているかは定かではない。(1)と(2)は頻繁に登場する対比軸であるため、大乗仏教と上座部仏教の比較の際には思い出したい。

問(2) 難易度：★★★★☆

(a)

解答

(a)平城, 雲崗石窟, B

解説

北魏の都は平城である。また都の近くに造られた石窟は**雲崗石窟**で、地図上で平城に近い都市はBになる。北魏の都とその地図上の位置、近くに造られた石窟の名称はすべて基礎レベルの知識である。各王朝の首都などの都市名・地名は、地図を見てその場所とともに把握しておこう。

(b)

解答例

(b)イエズス会は祖先祭祀や孔子崇拝の典礼を認めたが、他派の反発をうけ教皇が典礼を禁止すると康熙帝はイエズス会以外の宣教師によるキリスト教の布教を禁止し、雍正帝は布教を完全に禁止した。(90字)

設問の要求

字数 3行以内(90字以内)

主題 清朝でキリスト教の布教が制限されていく過程

解説

清朝でキリスト教の布教が制限されていく過程は大きく3つに分けられる。

①制限なし

中国でキリスト教布教が始まった当初、中国古来の文化としての**祖先祭祀**や**孔子崇拝**などの**典礼**をどの程度許容するかに関して**イエズス会**内部で問題になったが、主流派はこれらに対して寛容的な態度をとり、**許容していた**。

②制限あり

イエズス会は典礼を容認していたものの、ドミニコ会やフランチェスコ会はイエズス会の典礼への妥協を許さなかった。1704年に当時の教皇クレメンス11世はドミニコ会やフランチェスコ会の反発を受け入れ、中国典礼への信者の参加を禁止し、この勅書の内容を中国に伝達した。当時の清皇帝であった康熙帝はこの勅書の内容を知るとローマに使節を派遣し弁明をしたが、教皇は断固として見解を変えようとはしなかった。その態度に反発した**康熙帝は、イエズス会以外の宣教師を国外退去させた**。これにより、イエズス会宣教師のみが中国でキリスト教を布教できることとなった。

③全面禁止

康熙帝の次に即位した**雍正帝**は宣教師の活動を疑わしく思い、1724年、宮廷奉仕のために滞在させたものを除いて、すべての宣教師を国外もしくはマカオに追放し、**キリスト教布教を完全に禁止した**。

問(3) 難易度：★★★★☆

(a)

解答例

(a)労働を重視する従来の修道会に対し、托鉢修道会は、土地や富の蓄積を否定し、都市で説教しながら信者からの喜捨で生活した。(59字)

設問の要求

字数 2行以内 (60字以内)

主題 フランチェスコ会 (フランシスコ会) やドミニコ会の活動形態の特徴

解説

フランチェスコ会とドミニコ会は、**托鉢修道会**である。よって、ここで求められているのは、「托鉢修道会の特徴」と見なしてよい。特徴を述べるには従来の修道会と比較するのがよい。それを踏まえて、以下の分類で答案を構成する。

(1)托鉢修道会誕生の背景

従来の修道会 (ベネディクト会系) は、「祈り、働け」の標語からわかるように、**労働による経済的自立を重んじた**。また修道院は民衆 (世俗) から離れて設立されて、修道士・修道女の修養を目指した。しかし、世俗から地理的に隔絶されていたため、また有力信者から寄進を受けて富裕化・世俗化したために托鉢修道会の反発を受けた。

(2)托鉢修道会の特徴

従来の修道会を否定した托鉢修道会は、個人・共同体ともに**財産の所有を否定し**、修道会の富裕化に反発した。代わりに、**信者からの喜捨で生活する「清貧」**の精神を重視し、喜捨を多く獲得するために**都市に繰り出し説教活動を行った**。

(b)

解答例

(b)離婚問題で教皇と対立したヘンリ8世は首長法で国教会を成立させ、エドワード6世は一般祈祷書で教義と儀式を定め、エリザベス1世は統一法で国教会を確立させた。カルヴァン派は、カトリック的な教会組織や儀式が残っていると批判した。(111字)

設問の要求

字数 4行以内 (120字以内)

主題 イギリス国教会の成立の経緯

国教会に対するカルヴァン派 (ピューリタン) の批判点

解説

「イギリス国教会の成立の経緯」については教科書レベルの知識で説明できるため、いかに簡潔な答案を作成できるかがポイントになる。「国教会に対するカルヴァン派（ピューリタン）の批判点」はあまり問われない着眼点であるが、国教会の特徴を理解していれば解答の要素を導き出せるだろう。

「イギリス国教会の成立の経緯」は3段階に分割できる。

①ヘンリ8世

ヘンリ8世が王妃キャサリンとの間に授かった子どもは、のちのメアリ1世を除いて若くして亡くなったため、後継者問題が発生した。またヘンリ8世は女官アン・ブーリンと恋に落ち、結婚を望んだが、カトリック教会では離婚は認められないため、当時の教皇クレメンス7世の同意を得られなかった。反発したヘンリ8世は、1534年に首長法（国王至上法）を發布し、イギリス国教会を樹立した。

②エドワード6世

イギリス国教会を成立させたヘンリ8世と王妃の侍女との間に生まれたエドワード6世は、宗教改革派の教義を信奉した。1549年に一般祈禱書を作成し、国教会の教義や制度が整えられた。

③エリザベス1世

ヘンリ8世と女官アン・ブーリンとの間に生まれたエリザベス1世は、1559年に第3の（礼拝）統一法を發布した。これによって国教会の祈禱や礼拝が統一され、メアリ1世の治世時のカトリック復帰による混乱がおさめられ、国教会が確立した。ちなみに、第1（1549年）と第2（1552年）の統一法はエドワード6世の治世時に發布されている。

「国教会に対するカルヴァン派の批判点」については、国教会の特徴から導き出したい。

国教会は、ヘンリ8世が成立させた頃の教義はカトリック（旧教）に近かったが、エリザベス1世が確立させた頃にはカルヴァン派に近い教義と化していた。よって、教義はプロテスタント（新教）に類似していた。しかし、儀礼や教会組織の面ではカトリック教会の要素を残していたため、プロテスタントを貫いたカルヴァン派には受け入れがたい存在であり、批判の対象となった。

（重森理瑛，是永郁治，町田佳奈子）

2018年度 東京大学 前期 世界史

第3問 地域や人々のまとまりとその変容

出題範囲	古代・中世・近代の社会・政治史
難易度	★★★★☆
所要時間	得意：5分　ふつう：7分　苦手：10分
傾向と対策	中国・ヨーロッパ・イスラーム世界における地域のまとまりについての問題。本問の特徴として、図版や資料を見ながら解答する形式であることが挙げられる。ただし、図版で用いられている文字の名称や地図上の都市名は明らかにされないままになっており、直接それらを問う問題も用意されておらず、資料中の空欄を埋める問題もない。問題形式が新しくなったうえに、問題内容も独特であるため、過去問の演習を積んでいた受験生ほど戸惑っただろう。求められる知識も2017年度と比較するとレベルが高くなっている。学習する際には、一問一答で身につくような知識のみならず、教科書や参考書に掲載されている図版や地図とあわせて確認しておく。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

《字数について》

東京大学二次試験地歴科目で用いられる30字詰め原稿用紙にもとづき、「1行=30字」と換算した
解答の冒頭にある設問番号も文字数に含んでいる

英字・算用数字は「1マスにつき最大2文字」書くことを前提として計算した

例 800年の場合

80	0	年
8	00	年

1200年の場合

12	00	年
----	----	---

ASEANの場合

AS	EA	N
----	----	---

解答

問(1) 燕雲十六州

問(2) パスパ文字

問(3) チャンパー（占城）

問(4) (a)アウグスティヌス (b)ヴァンダル

問(5) ノルマン人による支配で、モスクがカトリック教会に変化した。（30字）

問(6) ニース

問(7) 第五共和政

問(8) イ

問(9) (a)ソグド人 (b)正統カリフ

問(10) ウルドゥー語

問(1) 難易度：★★★★☆

解答

燕雲十六州

解説

10世紀に存在したモンゴル系遊牧国家（遼）が、南に接する王朝（後晋）から割譲させた地域は、燕雲十六州である。916年に遼（契丹）を建国した契丹（キタイ）人はモンゴル系遊牧狩猟民であり、遼は936年に後晋の建国を援助した代わりに、燕雲十六州を手に入れた。また、遼が創り出した文字（図版 a）は契丹文字。

※燕雲十六州：現在の北京（燕州もしくは幽州）や大同（雲州）を中心とした長城付近の地域を指す。

※契丹文字：遼の建国者である耶律阿保機のときに漢字を基礎につくられた大字と、その後のウイグル文字の影響で作られた表音文字系の小字から構成される。いまだ完全には解読されていない。

問(2) 難易度：★★★★☆

解答

パスパ文字

解説

13世紀にモンゴル高原に建てられた帝国（モンゴル帝国）が、領内から迎えた宗教指導者（パスパ）に新たにつくらせた文字は、パスパ文字。パスパはフビライに厚遇されたチベット仏教僧で、1270年にフビライの宗教と文化顧問の国師（帝師）となった。1269年にフビライの命で元朝の公用文字であるパスパ文字を作成し公布した。パスパ文字はチベット文字を基礎として作成され、それ以前に使われていたウイグル文字にもとづくモンゴル文字よりも優れているとされた。元の国威の象徴として公式文書などに使用されたが、書きにくさから大衆には普及せず、元朝とともに滅びた。モンゴル帝国が滅ぼした国家（金）の制度を引き継いで発行した紙幣（図版 b）は、交鈔。

問(3) 難易度：★★★★☆

解答

チャンパー（占城）

解説

13世紀にインドシナ半島で成立した王朝（大越国陳朝）の南方にあり、漢字文化圏とは異なる文化圏である半島東岸の領域は、チャンパー（占城）。1225年に李朝の外戚である陳氏が建てた陳朝は、元軍を撃退し、南方のチャンパーを征討した。陳朝で漢字をもとにしてつくられた文字（図版 c）は字喃（チュノム）。

※チャンパー：2世紀～17世紀にベトナム中部にチャム人が建てた王国を指す。以前よりインドと中国南部との中継貿易で隆盛していたが、4世紀末から「インド化」が進み、ヒンドゥー教の影響を受けた。一方で、カンボジアに入ったチャム人はほぼイスラーム教徒になった。これらの事項から「漢字文化圏とは異なる文化圏」とであると認識できるだろう。

※字喃（チュノム）：漢字の部首をもとにして作成されたベトナム文字のことを指す。現在は廃止されている。

問(4) 難易度：★★★★☆

解答

(a)アウグスティヌス (b)ヴァンダル

解説

(a) 5世紀前半に生涯を終え、若い頃にマニ教に関心を示し、彼による膨大な著作が中世西欧世界に大きな影響を及ぼした司教は、アウグスティヌス。アウグスティヌスは青年期にマニ教を信仰していたが、新プラトン主義に影響されキリスト教に改宗した。晩年は故郷の北アフリカで司教となり活躍した。カトリック教義の確立に貢献したほか、スコラ哲学や宗教改革など長きにわたり影響を及ぼす人物である。有名な著作には『告白録』や『神の国（神国論）』がある。都市Aはヒッポ（現アンナバ）。

※『告白録』：アウグスティヌスの自伝。彼がマニ教を経てキリスト教に改宗するまでの半生を描き、神への「告白」の形式で振り返る。

※『神の国（神国論）』：アウグスティヌスの代表作の1つ。413～27年に執筆され、西ゴート人によるローマ占領をきっかけにキリスト教の弁証を綴ったもの。

※ヒッポ（現アンナバ）：アルジェリア北東部の都市でチュニジアとの国境付近に位置する。古代ローマ時代にはヒッポレギウスとよばれた。

(b) 5世紀前半に都市A（ヒッポ）と都市Bに攻め寄せてきた部族集団は、ヴァンダル。5世紀のヨーロッパではもっぱらゲルマン人の移動が盛んだったことを思い出せば正答できる。ヴァンダル人は、4世紀前半にはドナウ川中流域に定住していたが、5世紀初めにローマ帝国領土内に進入したのち、現フランス北部からイベリア半島にまわり、北アフリカに侵攻し、429年に王国を築いた。軍事力によって西地中海の覇権を築いたが、ユスティニアヌス帝期（534年）に東ローマ帝国によって滅ぼされた。都市Bはカルタゴ。

問(5) 難易度：★★★★☆

解答例

(5)ノルマン人による支配で、モスクがカトリック教会に変化した。(30字)

設問の要求

字数 1行以内（30字以内）

主題 シチリア島内における、支配者勢力の交替に伴った宗教施設の変化

解説

都市Cが位置しているのはシチリア島内。シチリア島で、1154年前後に起こった「支配者勢力の交替」はアッバース朝（イスラーム勢力）から両シチリア王国（ノルマン人）への支配者勢力の交代だと考えてよいだろう。もともとイスラーム勢力がシチリア島を支配していたことがわかれば、「旧来の宗教施設 」はモスクになる。そして、「新支配勢力の信奉する宗教の施設」は教会になる。答案として求められている内容は、「旧来の宗教施設から新支配勢力の信奉する宗教の施設への変化」であるため、最低でも「モスクから教会」の記述は必要となる。高得点を狙うなら、「新支配者勢力」を「ノルマン人」と明らかにするとよい。

1130年にノルマン人のルジジェーロ2世が南イタリア（シチリア島とイタリア半島部）に両シチリア王国を

建国した。建国により支配者勢力としてのムスリムは去ったが、文化は現地に残った。イスラーム文化、ギリシアの東方正教文化、ラテンのカトリック文化が両シチリア王国内で共存し、モザイク状に棲み分けていた。都市Cはパレルモ。

※イドリーシー：アラビアの地理学者。北アフリカで生まれ、スペインのコルドバで学び、地中海諸国を訪問した。その後ルッジェーロ2世に仕え、王のために複数の書を著し、特に『ロジェールの書』ともよばれた地図解説書はイスラーム地理学の典型的地図として有名である。

問(6) 難易度：★★★★☆

解答

ニース

解説

ウルグアイなど南米で勇名を馳せた人物（ガリバルディ）の生まれ故郷の港町であり、1860年4月にサルデーニャ王国から隣国（フランス）に割譲された町は、ニースである。1860年、ニースはサヴォイアとともにフランスのナポレオン3世に割譲された。その割譲と引き換えに、中部イタリア諸国で住民投票を実施し、1860年3月にサルデーニャ王国への中部イタリア併合が確定した。サヴォイアとニースのフランスへの割譲はプロンビエール密約の内容に含まれていた。「サルデーニャ王国から割譲」の部分で、サヴォイアとニースに絞り込める上に、「港町」というヒントがあれば、解答はニースに決まる。ガリバルディはニースに生まれ、1833年にマツィーニが結成した「青年イタリア」に加入し翌年にジェノヴァ蜂起に参加するも失敗する。南米に亡命し、そこでウルグアイ独立のためにブラジルと戦った。1848年革命時に帰国するもまた南米に亡命し、再び帰国した1859年にはイタリア統一戦争に参加した。1860年には千人隊（赤シャツ隊）を率い、シチリアと南イタリアを解放してヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世に献上した。都市Dはナポリ。

※プロンビエール密約：1858年のフランスのナポレオン3世とカヴールの間の密約を指す。フランスとサルデーニャが同盟を組みオーストリアと戦うことを定め、フランスの支援の見返りとしてサヴォイアとニースをフランスに割譲することなどを設定した。密約成立後、1859年にフランスとサルデーニャ軍はオーストリア支配下のロンバルディアに侵攻し、イタリア統一戦争が勃発した。しかし、戦争勃発後にナポレオン3世は密約を反故し、オーストリアと単独講和を締結した。

問(7) 難易度：★★☆☆☆

解答

第五共和政

解説

都市Aを含む地域（アルジェリア）を植民地とした宗主国（フランス）における、20世紀後半に起きた独立運動（アルジェリア戦争）とそれに伴う政情不安を契機に転換した後の体制は、第五共和政である。アルジェリア戦争は、1954～62年の7年間におよぶアルジェリア民族解放戦線（FLN）対フランスの民族解放戦争。アルジェリアは1834年にフランスの植民地となったが、1954年にFLNにより開始した武装蜂起は全国に広まった。

フランス政府は、アルジェリアに大勢のフランス人が入植していることから、アルジェリアを「国内」とみなした対応をした。アルジェリア独立をめぐってフランス内の世論は二分したうえ、国内の政情不安が加速した結果、1946年から発足していた第四共和政が崩壊した。代わりに1958年に**第五共和政**が発足し、**ド＝ゴール**が大統領に就任した。1962年には**エヴィアン協定**でアルジェリアの**独立を承認**した。

問(8) 難易度：★★★★☆

解答

イ

解説

まず、都市 はどこかを探る必要がある。「ティムール＝ベグが首都とした。ティムール＝ベグ以前に、彼ほどに強大な君主が を首都としたことはなかった。」(資料 X) とある。「ベグ」は首長や支配者を意味するトルコ語の称号であり、姓名の一部というわけではない。よって、「ベグ」を外した状態で読むと、「ティムールが首都とした」となる。ティムールは、**ティムール朝**の創設者であり、彼が首都としたのは**サマルカンド**だ。よって、 はサマルカンドであることがわかる。

続いてサマルカンドが描かれた図を選ばなくてはならない。最大のポイントは、サマルカンドが**内陸部の都市**であるということ、サマルカンドが**交易の要地**であるということだ。そのため、まず海が見えているアは候補から除外され、また、交易が盛んな都市が城壁を形成するとは考えられないため、エも候補から除外される。残るはイとウであるが、ウの都市は区画整備がなされて整然としていることから、教科書や資料集で見かけることの多い**長安**であるとわかる。よって、ウも候補から外れ、残るはイである。消去法だけでは不安が残るので、イを見てみよう。イの地図の大きな特徴は、天文台がみえることだろう。ここで、ティムール朝第4代君主の**ウルグ＝ベク**によって、1420年代に**ウルグベク天文台**が建設されたことを思い出せば、確信をもってイを選べる。

アは**コンスタンティノープル**の図。宮殿は**トプカプ宮殿**を指し、その南にある宗教施設は**ハギア＝ソフィア大聖堂**(メフメト2世がモスクに改造)、もう1つの宗教施設は**スレイマン＝モスク**(スレイマン1世が建設)である。都市を囲む太線は城壁を指す。西側の凹凸は**テオドシウス帝の大城壁**を指し、413年に建設された城壁が3重の構造を成していることが強調されている。他の太線は、1重だが城壁が存在していること指す。

ウは先述の通り**長安**の図。最北部にある宮殿は**大明宮^{だいめいきやう}**で、皇帝が生活し政務を行う場でありながら、国家的儀式も執り行った場でもある。中央の宮殿は**太極宮**で、儀式場の役割を担う以外にも門下省や中書省の建物が位置した場所でもある。東の宮殿は**興慶宮**で、唐の玄宗が建設した宮殿であり、728年からここで政治を始めた。

エは**バグダード**の図。円形都市であることが特徴的。そばを流れる川は**ティグリス川**で、円形の城壁の出口は4つある。

問(9) 難易度：★★★★☆

解答

(a)ソグド人 (b)正統カリフ

解説

- (a) 都市 (サマルカンド) を含む地域においておもにゾロアスター教を信仰し、遠距離商業で活躍していた人々はソグド人。ソグド人は、中央アジアのソグディアナ(サマルカンド等を含むザフラシャン川流域)で活躍し、シルクロード(オアシスの道)での中継交易に従事していた。はじめはゾロアスター教を信仰する人が多かったが、次第にマニ教を信奉する人も現れ、それらの宗教が東方に伝わるようになった。
- (b) ウスマーンを含むムスリム共同体の初期の4人の指導者は、正統カリフとよばれる。正統カリフとは、ムハンマドの死後、ムスリムの選挙の結果カリフとなった人物らを指す。アブー=バクル、ウマル、ウスマーン、アリーの順にカリフとなった。正統カリフに対する見解はスンナ派とシーア派とで異なる。スンナ派は正統カリフを含む代々のカリフの正統性を認めるが、シーア派はアリー以外の正統カリフを認めず、アリーおよび彼の子孫のみをムハンマドの後継者としている。ウマルは、ジハード(聖戦)を敢行した結果、統治領域を一挙に拡大させ、イラン南西部からシリアやエジプトにまで及んだ。また、軍営都市バスのラの建設やイスラーム暦の制定なども実施した。アリーは、ムハンマドの娘と結婚した人物で、前シリア総督ムアウイヤと抗争している間に過激なハワーリジュ派に暗殺された。

問(10) 難易度：★★★★☆

解答

ウルドゥー語

解説

もと の君主である資料Xの著者(バーブル)が創設した王朝(ムガル帝国)の宮廷で発達し、現在のパキスタンの国語となった言語は、ウルドゥー語。ウルドゥー語は、インド=イラン語派に属し、アラビア文字で書かれる言語。ムガル帝国ではインド=イスラーム文化が発達し、ペルシア語にヒンディー語の語彙を取り入れたウルドゥー語がその文化の発達を示している。

(重森理瑛, 是永郁治, 今村優太)